

## 令和6年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザPDCAシート 公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 總括表 —

## ◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的な生活課題が山積する状況ではあるが、地域住民による主体的な見守り活動や支援が継続して行われている。絶対的なマンパワーの不足が顕著であり、高い専門性に基づく支援展開を図るために、様々な専門機関と連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

□ 今年度の重点的な取組

新規		継続	一具体的な取組内容一
■			5職種が、各事業において地域住民から寄せられる要望や、民生委員との連絡会などで出される意見、相談事例から抽出される課題などの情報を、部門ごとのミーティングや定例会議で集約する。集約した地域課題の解決のための方策を、関係機関とのカンファレンスや地域ケア会議などによって検討していく。また事業の企画に活用していく。
■			コロナ禍を経て、地域福祉保健計画の地区別計画第4期の振返りを行い、区の支援チームと連携し、支えあい連絡会を通じて第五期計画の策定に向けた地域住民の取組を支援していく。
■			押し買いによる被害が多数発生し、詐欺により多額の預貯金をだまし取られそうになった事例もあった。リフォームによる住み替えなどで隣近所の入替わりもあり、コミュニティの再編が必要になっている。防犯情報の提供や啓発活動を継続して実施し、見守りや気づきの充実につなげる。
■			年齢を問わず誰もが参加しやすいゲーム(モルック等)を活用し、世代を超えて住民が交流できる場を提供することで、お互いに顔を合わせる機会を増やし、挨拶や声かけを行いやすい地域となるよう関係づくりを進める。
■			住民のニーズに合致した新たな行事やセミナーを主催することで、ケアプラザ利用者の増加を図るとともに、ボランティアや認知症サポーターの養成講座を住民向けに開催し、地域における福祉保健活動への意識向上と、新たな担い手の発掘に努める。

## ◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

各職種が積極的に地域の集いに参加したこともあり、住民の支え合い意識を根底とした多くの地域活動を知ることが出来た。また、様々な職種の者が住民の相談対応を行い、潜在する地域課題・ニーズを把握することができた。それらから得た情報や気づきをもとに、地域ケア会議などの場を通じて、地域課題の解決・ニーズの充足に向けた更なる方策について相互で検討することが出来たため、各々が実践活動の持続・展開を行う事が出来た。

支えあい連絡会の部会として、地区別計画の目標ごとに3つの委員会を改めて立ち上げ、住民と関係機関とともに話し合いを進めながら、それぞれの目標実現に向けた具体的な取り組み（ポスター作成、みちあそびプロジェクト、防災勉強会）をスタートした。また、コアメンバーでの会議を中心に第4期計画全体の振り返りを行い、住民の代表者とともに成果と課題を共有した。

上白根地区でも詐欺被害の情報が多く入ようになった為、民生委員懇談会の場に地域住民を招待し、横浜市消費生活応援隊の方に正しい詐欺の対処方法を寸劇を交えて講習会を行った。

モルック体験会を開催したことで、地域の中に愛好者が増えて２つのサークル活動が生まれた。活動立ち上げの支援に加え、スタート後にも継続して関わることで、住民主体の介護予防の取り組みをサポートした。また、四季の森小学校キッズクラブとも連携し、モルックサークルの高齢者と児童がゲームを一緒に楽しみながら、交流を深める機会を設けた。

地域住民の作品を中心に月替わりで絵画展を開催したことで、来館者が増えるとともに、絵を見に来た方々と新たなつながりが生まれた。その結果、新しい体操教室を始める団体が設立され、これまでケアプラザを利用したことのない方々も訪れるようになった。

#### □ 区からのコメント

・「ひかりが丘健康応援フェスタ」を開催し、種別を問わずエリア内の福祉施設と連携されました。また包括レベル地域ケア会議では、商店や郵便局、団地の管理事務所など、地域住民が利用する店舗等の繋がりが生まれました。地域内の機関・施設で連携することは地域力の底上げに繋がると感じます。今後も、地域住民にとっての身近な相談機関であるとともに、社会資源を繋ぐ役割を果たされることを期待しています。

・関係団体と連携し、新たに子どもの居場所づくりに寄与する取組が実施されました。引き続き地域のニーズを踏まえ、丁寧な地域支援に努めていただくようお願いします。

・引き続き安定的な施設運営を行うため、職員を人的資本と捉え、所長のリーダーシップのもと、相談体制の整備や人材育成の取組を進め、職員一人ひとりが働きやすい職場環境の更なる改善に努めてください。

令和6年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	事故防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについて、個人情報が含まれた文書をやむを得ずFAX送信する場合は、マニュアルに沿って、チェックシートを運用し、漏えい事故防止を図る。
実績	住民や利用者が主体的に必要な社会資源・サービスを選択できるよう、情報提供に努めた。特にインフォーマルサービスに関する情報提供に力点を置いて行なった。	個人情報保護に関する職員研修を、外部講師(弁護士)を招いて実施した。個人情報に関わる情報をFAX送信する場合は2人でファックス機を操作するなどダブルチェックの徹底した。個人情報、所内から持ち出す場合はノートにて管理、事故防止に努めた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるよう計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー2名(専従1名、兼務1名)	ケアマネジャー2名(うち管理者兼務1名、介護予防プランナー兼務1名)
契約者数	143	819

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00～16:10 【定員】40名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:713円 要介護2:829円 要介護3:961円 要介護4:1,091円 要 介護5:1,224円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者ケア体制加算:48円 若年性認知症利用者受入加算:64円 サービス提供体制加算Ⅱ:19円 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 要支援1:1,792円 要支援2(週1回):1,792円 要支援2(週2回):3,674円 ●その他利用料(1ヶ月分) サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:77円、週2回:154円) ●その他利用料(1回分) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者兼相談員1名 相談員1名以上(介護職兼務含) 看護師4名 介護士14名(相談員兼務含) 厨房4名 ドライバー1名		
契約者数等	【延べ利用者数】9,217 【契約者数】34	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,372,494	1,083,600	17,456,094	16,748,094	708,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	33,500	△ 33,500	
雑入	0	0	0	8,765	△ 8,765	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	8,765	△ 8,765	
その他	4,046,000		4,046,000	4,046,000	0	
収入合計	20,418,494	1,083,600	21,502,094	20,836,359	665,735	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,096,494	0	12,096,494	13,950,913	△ 1,854,419	法人本部経費は含まれていません。
本俸	8,000,000		8,000,000	11,612,485	△ 3,612,485	
社会保険料	1,500,000		1,500,000	2,060,090	△ 560,090	
手当計	2,000,000		2,000,000	0	2,000,000	
健康診断費	20,000		20,000	11,532	8,468	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000	0	100,000	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	230,143	△ 130,143	
その他	376,494		376,494	36,663	339,831	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	928,690	1,118,310	法人本部経費は含まれていません。
旅費	20,000		20,000	12,320	7,680	
消耗品費	450,000		450,000	111,209	338,791	
会議館い費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	150,000		150,000	155,734	△ 5,734	
通信費	400,000		400,000	264,232	135,768	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	172,684	327,316	
図書購入費	30,000		30,000	0	30,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	100,000		100,000	9,429	90,571	
振込手数料	3,000		3,000	0	3,000	
リース料	20,000		20,000	15,353	4,647	
手数料	1,000		1,000	1,840	△ 840	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	183,889	167,111	
事業費	550,000	0	550,000	380,477	169,523	法人本部経費は含まれていません。
運営協議会経費	10,000		10,000	0	10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	380,477	119,523	
その他	40,000		40,000		40,000	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0		0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0		0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0		0	0	0	
管理費	5,253,000	0	5,253,000	5,507,036	△ 254,036	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	4,450,000		4,450,000	4,447,573	2,427	
清掃費	35,000		35,000	22,532	12,468	
機械警備費	180,000		180,000	175,191	4,809	
設備保全費	580,000	0	580,000	526,546	53,454	
空調衛生設備保守	500,000		500,000	473,015	26,985	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	29,199	801	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,000		50,000	24,332	25,668	
共益費	0		0	0	0	
その他	8,000		8,000	335,194	△ 327,194	
修繕費	474,000	1,083,600	1,557,600	1,557,600	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません。
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	20,418,494	1,083,600	21,502,094	22,322,716	△ 820,622	
差引	0	0	0	△ 1,486,357	1,486,357	

自主事業費 収入	0	0	0	33,500	△ 33,500	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	380,477	119,523	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 346,977	△ 153,023	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

## 令和6年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」

## 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

(単位：円)

## 収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,393,173	0	24,393,173	22,257,778	2,135,395	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,937,404	0	5,937,404	5,937,404	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	290,000		290,000	290,000	0	
収入合計	30,774,577	0	30,774,577	28,639,182	2,135,395	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,511,577	0	24,511,577	24,647,193	△ 135,616	法人本部経費は含まれていません。
本俸	14,500,000		14,500,000	16,112,214	△ 1,612,214	
社会保険料	4,000,000		4,000,000	3,009,655	990,345	
手当計	5,500,000		5,500,000	0	5,500,000	
健康診断費	0		0	12,993	△ 12,993	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	505,927	△ 405,927	
その他	411,577		411,577	5,006,404	△ 4,594,827	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	2,893,473	508,527	法人本部経費は含まれていません。
旅費	100,000		100,000	24,674	75,326	
消耗品費	500,000		500,000	91,955	408,045	
会議滞在費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	300,000		300,000	197,306	102,694	
通信費	100,000		100,000	297,103	△ 197,103	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	800,000		800,000	29,800	770,200	
図書購入費	100,000		100,000	0	100,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	500,000		500,000	61,502	438,498	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	40,000		40,000	2,951	37,049	
手数料	100,000		100,000	1,831,390	△ 1,731,390	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	850,000		850,000	356,792	493,208	
事業費	1,256,000	0	1,256,000	662,824	593,176	法人本部経費は含まれていません。
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000	2,800	349,200	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	23,024	△ 23,024	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	120,000		120,000	0	120,000	
その他			0		0	
管理費	1,479,000	0	1,479,000	1,463,889	15,111	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	1,260,000		1,260,000	1,182,266	77,734	
清掃費	10,000		10,000	5,989	4,011	
機械警備費	50,000		50,000	46,569	3,431	
設備保全費	153,000	0	153,000	139,966	13,034	
空調衛生設備保守	130,000		130,000	125,737	4,263	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	7,761	2,239	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	13,000		13,000	6,468	6,532	
共益費	0		0	0	0	
その他	6,000		6,000	89,099	△ 83,099	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	法人本部経費は含まれていません。
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	30,774,577	0	30,774,577	29,793,379	981,198	
差引	0	0	0	△ 1,154,197	1,154,197	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	626,000	0	626,000	179,824	446,176	
自主事業 収支	△ 626,000	0	△ 626,000	△ 179,824	△ 446,176	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,000	3,200	-200	6,000	4,900	1,100	14,000	11,158	2,842	100,000	80,582	19,418	4,000	3,684	316
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,000	-12,000	0	720	-720
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,000	-12,000	0	720	-720
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	3,000	3,200	-200	6,000	4,900	1,100	14,000	11,158	2,842	100,000	92,582	7,418	4,000	4,404	-404
支出	人件費	1,000	1,000	0	2,500	1,000	1,500	13,000	11,120	1,880	75,000	73,329	1,671	2,000	8,000	-6,000
	事務費	100	2,824	-2,724	100	4,519	-4,419	100	1,692	-1,592	10,000	7,288	2,712	1,000	800	200
	事業費	100	447	-347	200	714	-514	100	25	75	15,000	12,340	2,660	1,000	1,400	-400
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	その他	1,800	1,700	100	3,200	1,900	1,300	800	0	800	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,800	1,700	100	3,100	1,900	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	100	0	100	800	0	800	0	0	0	0	0	0
	支出合計(B)	3,000	5,971	-2,971	6,000	8,133	-2,133	14,000	12,837	1,163	100,000	92,957	7,043	4,000	10,200	-6,200
収支 (A)－(B)		0	-2,771	2,771	0	-3,233	3,233	0	-1,679	1,679	0	-375	375	0	-5,796	5,796

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀倶楽部	平成22年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者同士で、日ごろの介護にまつわる苦勞や疑問等を相談・話し合い、息抜きやストレス解消、介護負担の軽減になるような場所づくり。	5: 地域		西ひかりが丘商店街の喫茶カブカブにて、介護者・包括職員とでサロン形式で雑談を行った。 毎月第二金曜日 14時～15時	12	38
2	団地内民生委員懇談会	平成22年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5: 地域		お盆の時期と正月の月を除く毎月第二金曜日に実施。市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行った。	10	133
3	団地外民生委員懇談会 (上白根民生委員連絡会)	平成22年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	上白根町のうち、中原街道北側地区戸建てエリア担当民生委員との、情報交換実施による連携強化。	5: 地域		団地外の上白根地区担当の民生・児童委員との情報交換や地域課題についての相談・検討を実施。連携・協力体制の強化を行った。 ・9月26日実施	1	8
4	特殊詐欺啓発活動	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	多発しているオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとする特殊詐欺の注意喚起、情報を提供し地域の高齢者へ注意喚起を行い被害の発生を未然に防いでいく。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
5	認知症普及啓発「世界アルツハイマー月間」	令和4年度	4: 共催（１と２）	1: 優先的に取り組み	アルツハイマーデーに合わせ、認知症に関する知識の普及啓発を実施し、認知症高齢者等への理解を得て、地域での見守りが効果的にされるようになる。	5: 地域	1	田中司法書士事務所 田中司法書士に相談会を依頼。R5年7月から奇数月第2土曜日午前中に1ヶ所30分で4件まで10時～12時の時間	3	20
6	シニアライフセミナー	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	高齢期を迎えた本人または家族、支援者が終末期に向けてよい準備ができるように情報提供をする。安心して高齢期を過ごし、本人も家族も満足した形で人生の最期を迎えられることを目指す。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
7	司法書士個別相談会	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	高齢期の相続、成年後見等の法的門槛に関して司法書士に個別に無料相談できる機会を作る。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
8	熱中症予防出張講座	令和5年度	6: 共催（２と３）	2: 発展させるねらい	熱中症患者の増える夏季に向けて、地域高齢者が実践できる予防策を周知することで当事者意識を高め、正しい対処方法を学ぶことにより熱中症罹患を予防する。	1: 高齢者	5	講座への関心は低く、参加人数は少なめだった。7月24日に実施	1	9
9	GoGo健康体操	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、講師による健康体操指導を年24回開催	1: 高齢者	5	毎月第一金曜日と第4木曜日に実施。 体操講師1名が在位で出来る運動を指導。当体操教室をきっかけに交友関係を広げられる方も多く、社会参加の場としても機能している。	22	482
10	GOGO健康体操 口腔ケア講座	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることににより要支援・要介護状態になることを予防する。	1: 高齢者	5	1月23日実施 旭中央総合病院言語聴覚士2名に来ていただき、オーラルフレイルになる機序や、舌のケア、誤嚥予防などを説明頂いた。	2	26
11	GOGO健康体操 栄養講座	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食事を摂ることににより要支援・要介護状態になることを予防する。	1: 高齢者	5	7月25日の講座は旭中央総合病院の堀内先生 12月5日の講座は講師はシャローム横浜の奥村栄養士	2	11
12	URハマトレ体操	平成25年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所です定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者	5	毎月第4月曜日にUR集会所にて実施 横浜市のハマトレ体操のVTRを上映し、それに合わせて体操を行う。	12	131
13	URハマトレ栄養教室	令和3年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスの取れた食事を摂ることににより要支援・要介護状態になることを予防する。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
14	URハマトレ体力測定	令和3年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所です定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者	5	11月25日実施 区役所健康づくり課に参加いただき、参加者の体力測定結果が意味することを説明していただいた。	1	11
15	UR健康測定会	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所です通いの場となっている公団集会所で健康測定会を実施し集客を図る。筋力低下予防のために現在の自身の状態を知る機会とする。顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
16	URハマトレ体操 体操指導	令和5年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所です定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者	5	7月22日の講座は旭中央総合病院のOT/PTIによるウォーキング指導	1	10
17	URハマトレ コグニサイズ	令和6年度	6: 共催（２と３）	1: 優先的に取り組み	西ひかりが丘団地にてハマトレに取り組んでいるグループの支援として、コグニサイズの講師を招く。普段とは異なるプログラムを採り入れることで、新規参加者の獲得をねらう。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0



■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	ひだまり	平成20年度	4: 共催（1と2）	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者を対象にした介護予防サロン。健康講話、体操や合唱、脳トレを行いつつ、季節ごとの簡単な工作やゲストによるプログラムを通して、外出・社会参加の場とする。	1: 高齢者	5	月に2回のサロンとして、第2水曜は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳トレを行い、第4水曜は健康体操とピアノ伴奏による合唱、脳トレを行った。	24	681
19	にこにこ会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り	2: 障害児・者	7	毎月第4火曜日 室内ゲームや雑談会、食事会や外出（散歩）の機会を設け、メンバーの社会性向上に努めた。	11	50
20	ひかりの会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2: 障害児・者	7	毎月第三火曜日に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行いサロン活動を行った。	11	40
21	子どもの工作あそびクラブ	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の小学生3～6年生を対象に、様々なおもちゃ工作を通して、創造して遊ぶ科学的興味を育てる。	4: 子ども・青少年	4	1月5日実施 講師に青少年指導員の磯野さんを招き、工作を指導していただいたが、子供たちが集まらなかった。	1	1
22	古典を学ぶ会	平成20年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1: 高齢者	5	講師のご住職の方による、今年度は引続き数異抄の購読などを行っている。 ・毎月第4木曜日に実施	7	22
23	囲碁教室	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。	2: 障害児・者	1.5	外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に、囲碁を通して地域の方との交流の場を設定した。ボランティアは福祉囲碁協会の方々。 ・毎月第1・3木曜日に実施	23	203
24	夏休み子どもクラブ	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(ダンス教室、クッキー教室、手芸教室など)としても恒例となっている。	4: 子ども・青少年		8月2日クッキー教室28名 8月5日手話ダンス体操12名 8月7日キッズダンス11名 8月8日ビンリョーナメント7名	4	58
25	歌謡体操	平成25年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5: 地域	1	毎月第1・3月曜日 カラオケDAMの歌謡体操を利用し、歌いながら体を動かしていくプログラムを実施した。	24	216
26	みんなの庭	平成26年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	園芸を通した世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。地域のあいさつ運動の一助となる活動。	5: 地域		不定期で開催 ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、及び維持管理に参加していただく。子どもから高齢者までの地域の方全てを対象とする。	4	48
27	楽しく健康！健康マージャン	平成29年度	5: 共催（1と3）	2: 発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的とし、高齢者の居場所として開催。	1: 高齢者	5	麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに來館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催を行った。 ・毎月第4金曜日	21	202
28	大人の料理倶楽部	平成29年度	5: 共催（1と3）	2: 発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	5: 地域	1	今年度から名前と活動内容を変えて行っている為、今回の事業補報告は無し。 ■オトナの遊ビバ・学ビバへ	0	0
29	助け合いが当たり前プロジェクト	令和1年度	5: 共催（1と3）	2: 発展させるねらい	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア（支え合い）への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1: 高齢者	5	10月3日実施 当通所でボランティア始めた方、夏休み子どもクラブでボランティア参加された方などに声をかけて繋がった。	1	4
30	サンセット会	令和5年度	4: 共催（1と2）	1: 優先的に取り組み	地域にお住まいの精神障害者の居場所づくり（にこにこ会とは異なる時間帯に設定）を行い、新たなボランティアを発掘する。	2: 障害児・者	5	障がい当事者がボランティアと一緒に食事を作り食べるサロンを行った。 7月25日・9月26日	2	10
31	ゆるっとウォーキングの会	令和5年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりがちな男性などの外出のきっかけづくり。近隣の公園やウォーキングコースを散歩することで、季節の変化を意識しながら、健康維持のための体力向上をねらいとする。	1: 高齢者	5	準備体操後、近隣の公園等へウォーキングし、周囲の自然探索をしながら交流を深めた。雨天時は多目的ホールで体操のあと、次回のウォーキングコース相談や地域の地理や歴史などをプロジェクトクターを使ってYouTubeで鑑賞した。毎月第2土曜日	9	170
32	歌うチャージング体操	令和5年度	4: 共催（1と2）	2: 発展させるねらい	上白根地区在住の講師による、高齢者向けの歌いながら行う高齢者のための運動「歌うチャージング体操」を開催することにより、新たな事業として地域に展開できるかをリサーチする。	1: 高齢者	5	NPO法人チャージングライフサポート協会所属の上白根地区在住の講師を招き、自分らしく生きる「いきいき健康長寿」を目指す「歌うチャージング体操」を地域の高齢者に体験していただいた。毎月第二木曜日	12	278
33	メロディーカフェ	令和5年度	1: 高齢者	1: 優先的に取り組み	ケアプラザで活動している音楽関係の団体に参加していただくことで活動の場を広げ、カプカブさんとのコラボレーションにより、障害のある方とも、高齢者の方とも、共生するあたたかい地域の居場所づくりをおこなう。	1: 高齢者	2.3.5	上白根地区で活動しているボランティアによる音楽演奏を中心に時宜にかなったミニイベントをカプカブの喫茶を提供し、おしゃべりの場を提供した。 奇数月第1火曜日に実施	6	120
34	あさひくんとアソボ体操による世代間交流	令和4年度	7: 共催（1と2と3）	1: 優先的に取り組み	ひかりが丘保育園の園児と一緒に、新たに作成された「あさひくんとアソボ体操」を地域の高齢者と一緒にを行い、世代間交流を行う機会とする。地域の高齢者と幼児がイベントをきっかけにあいさつができるように、地域計画の一つである「あいさつ活動」に繋げる。	1: 高齢者	5	ひかりが丘保育園の年長児がデイサービスを訪問。利用者の前で園歌とあさひくんとアソボ体操を披露してもらい、世代間交流を行った。 6月7日実施	1	46

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業      4：共催（１と２）      5：共催（１と３） 6：共催（２と３）      7：共催（１と２と３）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者      2：障害児・者      3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年      5：地域      6：事業者 7：その他		
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	-------------------------------------------------------------------	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	ひかり福祉フェスタ(ひかり健康応援フェスタ)	令和1年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすい狙い。	6: 事業者	5	高齢、障害分野の9つの福祉事業所と連携し、健康チェックや体操イベントを開催。ケアプラザの周知にむかわ、福祉施設スタッフが地域住民と接する機会を設けることで、今後の関係づくりへとつなげた。 11月17日実施	1	72
36	食品衛生講習会	令和1年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解していただく。	5: 地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施した。 ・7月17日 2回に分けて実施	2	22
37	地域貢献デー	令和1年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とする。	4: 子ども・青少年	5	毎年県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場していたが、今年度は県立高校から話が無く、中止に。	0	0
38	ボランティア講演会	令和4年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	地域の県立高校で開催されるボランティア講演会に出席して、ケアプラザの働きを紹介し、上白根1地区においてボランティアの啓発及び発掘を行う。	4: 子ども・青少年	5	横浜旭陵高校1年次生を対象としたボランティア講演会に出講し、ケアプラザの役割や地域ボランティア活動の意義を伝えることで、地域活動への参加を呼びかけた。 3月7日実施	1	197
39	四季の森小 総合学習	令和4年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	四季の森小2年生・4年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザについて紹介し、利用している住民との多世代交流を行う	4: 子ども・青少年	5	今年度は四季の森小学校から依頼が無く中止。	0	0
40	四季の森小学校 福祉教育	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がい者と交流し、学ぶことで、障がいを持った方への接し方を知る機会を作る。さらに、車椅子など福祉用具の扱い方を学ぶ場を提供する。	4: 子ども・青少年	2	今年度は四季の森小学校から依頼が無く中止。	0	0
41	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	平成17年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	「地域共生社会」に向け、「誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす」この目標に対し日本全体で課題になっている高齢化に伴い、認知症の方々や地域に関わる事が多くなっている。認知症サポーター養成講座を受講して頂く事で、認知症への理解を深め、気付き、関係機関と連携できる体制整備を進める。	5: 地域	1	認知症サポーター養成講座 ・7月8日実施	1	10
42	貸館団体登録説明会	令和5年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ貸館利用登録の方法と留意点に置いての注意点・留意点を利用団体に理解してもらう。	1: 高齢者	5	今年度は担当者の交代等があり行うことが出来なかった。	0	0
43	ボランティア交流会	令和4年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	ボランティアの育成、介護予防普及強化、ボランティア間の交流	5: 地域	1	令和6年度のケアプラザ他でのボランティア活動の紹介及び報告による交流と包括担当看護師による介護予防講話、ボランティア同士によるグループワークによる地域支援の啓発 3月23日に開催	1	27
44	ひかり卓球部	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者に無理なく行える運動として卓球を楽しんでいただくことで、体力の維持を図る。また交流や仲間づくりの場としても機能することで、広く地域福祉に貢献する。	1: 高齢者	5	卓球を通じて健康づくりを行うとともに、参加者が積極的にコミュニケーション取るように促すことで、地域住民同士の交流の活発化を図った。9月以降は、住民主体による活動として貸館に移行。	10	120
45	オトナの遊ビバ・学ビバ	令和5年度	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	昔遊び倶楽部を自主事業に戻し、内容を新たにスタートさせる。従来の制作活動も残しつつ、より幅広いプログラムで、高齢者の生活を豊かにする為の遊びと学びの機会を提供し、介護予防につなげる。	1: 高齢者	5	月替わりでの企画を立案。包括のとの連携に加え、外部からの出張講座も活用し、高齢者の通いの場を運営。 第4水曜日に実施	6	72
46	モルック体験会	令和6年度	7: 共催（１と２と４）	2: 優先的に取り組み	モルックのゲームを通じて、地域の高齢者に運動と交流の場を提供するとともに、児童と一緒に遊ぶことで世代を超えた関係づくりにつなげる。	1: 高齢者	4	自治会、保健活動推進員、スポーツ活動推進委員、放課後キッズクラブ等、地域内で役割を担う多様な主体と連携し、幅広い住民の方にゲームを体験してもらった。 ・5月24日実施	1	21
47	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5: 地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布 ・11月25日旭区役所に実施	1	700
48	GOGO健康体操 歌と体操	令和6年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	歌唱を通じて口腔体操を行いオーラルフレイル予防をする。	1: 高齢者		歌唱指導者が作成した資料を用いてオーラルフレイル予防について説明を受け、その後歌唱を通じて口腔運動を行った。 ・3月7日実施	1	20